

2023

江別の図書館

江別市情報図書館

目 次

I 江別市情報図書館の概要

1 図書館運営の概要	1
2 図書館の沿革	3
3 機構・職員	6
4 予 算	7
5 蔵書冊数等の推移	8
(1) 蔵書冊数	8
(2) 所蔵雑誌冊数	8
(3) AV資料数	8
6 利用状況総括	9
(1) 利用資料数の推移	9
(2) 資料利用者数の推移	9
(3) 団体貸出の推移	9
(4) 貸出登録数の推移	9
(5) AV資料利用数の推移	10
(6) 図書館資料相互貸借の推移	10
(7) レファレンスサービス等件数の推移	10
(8) 市民1人当たり指標、その他の指標の推移	10

II 各施設の概要

1 情報図書館本館	11
2 情報図書館江別分館	12
3 情報図書館大麻分館	12
4 豊幌小学校図書館	13
5 江別太小学校図書館	13
6 図書等貸出・返却窓口 市民交流施設「ぷらっと」内 江別市民活動センター・あい	14

III	事 業	
1	読書普及等事業	15
2	展示室事業	15
3	ビデオ視聴室事業	16
4	コンピュータ学習室事業	16
5	視聴覚ライブラリー事業	17
IV	資 料	
1	図 書	18
2	雑 誌	19
3	新 聞	22
4	情報図書館で活動するボランティア	22
V	条例、規則	
1	江別市情報図書館条例	23
2	江別市情報図書館条例施行規則	25
3	江別市視聴覚ライブラリー規則	28

I 江別市情報図書館の概要

1 図書館運営の概要

江別市における図書館活動は、1963(昭和38)年2月、中央公民館(当時は単に”江別市公民館”)図書室において始まり、その後設置された大麻公民館、野幌公民館においても同様に図書館サービスが行われました。三公民館でのサービスによって年間の図書貸出冊数は市民1人当たり2冊を超え、当時の我が国の図書館奉仕の水準からは決して低くはないものの、レファレンスや周辺活動等、図書館奉仕として満足のいく状況にはありませんでした。

1980年代に入ると、科学技術の発達はもちろんのこと、人生80年の時代を迎え、社会変化の進展も著しいものがありました。

一連の社会変化に対応するため、新しいまちづくりが企画されました。地域の歴史や風土に基づく独自の産業を継承・発展し、江別らしい地域文化を創造していく事が重要な課題となり、とりわけ先端技術産業の誘致を目指していた本市にとって、知的インフラの整備が急務となりました。

こうした状況のなか、時代にふさわしい生涯学習の施設整備のひとつとして構想されたのが情報図書館です。

図書館の建設計画は、1984(昭和59)年に始まります。

建設する図書館は、当然のことながら、全市的な図書館サービスの中核施設になるものでした。その使命は、情報化時代を背景に生涯学習の拠点として、学校教育と社会教育との連携を図りながら、市民の自発的な学習活動に対し情報や資料を提供し支援していくことや、地域文化の創造やまちづくりにも寄与していくことでした。

幸いにも江別市は、通産省の「ニューメディア・コミュニティ構想」事業の指定を受けた事例研究地域として、財団法人ニューメディア開発協会が「教育情報処理システムのあり方」という調査報告書をまとめていたところでした。こうした成果を踏まえ、図書館には次の三つの機能を盛り込むこととしました。

第一は、図書館機能です。従来の図書館奉仕に加え、コンピュータを導入しサービスの向上と事務の効率化を図り、また、3か所の公民館図書室を図書館の分館と位置づけ、本館、各分館をオンライン化することにより即時に所蔵検索を可能にするなど、図書館のネットワーク化を図ることとしました。これは北海道では初の試みでした。

第二は、教育情報機能です。これは、学習情報の提供を行うほか、「コンピュータ学習室」を設け、パソコン教室などを開催し、市民のコンピュータに対する理解を得るための機能を持たすこととしました。

第三は、教育研修機能です。学校教育におけるコンピュータ利用の研究や、科学教材の研究・開発のための機能を持ち、あわせて、科学分野の実験学習・体験学習を行うことができるものとしてしました。

この構想のもと、1987(昭和62)年9月、建設に着手し、1988(昭和63)年7月に竣工しました。その後、開館のための準備期間を経て、1989(平成元)年8月1日、開館の運びとなりました。

その後、コンピュータによる図書館ネットワークは、江別市内の全小中学校とのオンライン稼働し、以後、札幌市中央図書館、さらには、1993(平成5)年6月から、学習情報提供活動を行うため北海道社会教育総合センターとのオンラインも実現させました。

1996(平成8)年4月には、北海道立図書館のネットワークに参加し、道立図書館の情報を即時に入手することが可能となりました。また、機能充実を目的とする本館の増築工事が完成し、レファレンスルーム、情報提供コーナーや保存書庫等の増設を行いました。

1997(平成9)年4月には、豊幌小学校の改築にあわせ、同校図書館の地域開放事業を開始しました。これは、学校図書館の本格的な地域開放の先駆けとなるものでした。

2004(平成16)年9月には、電算システムを更新し、携帯電話からの蔵書検索を開始し、2005(平成17)年1月からインターネット、2011(平成23)年3月からは携帯電話からの予約サービスを開始しました。

また、2006(平成18)年4月から、学校図書館に司書を派遣し学校図書館の整備や活性化を図る目的で「学校図書館へ情報図書館司書派遣モデル事業」を開始しました。

2011(平成23)年10月には、江別市在住の北海道大学名誉教授・鈴木章氏が2010(平成22)年にノーベル化学賞を受賞したことを記念し、1階ホールに190冊からなる「ノーベル化学賞受賞鈴木章記念文庫」のコーナーを開設しました。

2015(平成27)年8月には、江別太小学校の改築にあわせ、市内2校目の学校図書館地域開放事業を開始しました。

2018(平成30)年1月には、電算システムの更新とともに、ウェブページのデザインを更新してスマートフォン対応とし、インターネット上での再貸出ができるようになりました。

2019(令和元)年12月には、新設された市民交流施設(ぷらっと)においてインターネット予約の資料貸出と返却ができる窓口を開設しました。

情報図書館は、開館以来34年目を迎え、どの地域に住んでいる市民も等しく図書館サービスを受けられることを目標に、ネットワークの構築・維持をはじめ、人的な体制の強化など多くの課題に取り組んでいます。

今後も、図書館業務の基本は市民に寄り添った情報提供機能を第一とする考えで充実を図りながら運営を行ってまいります。

2 図書館の沿革

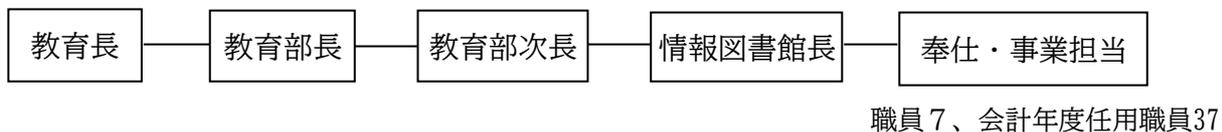
- 1962年(昭和37年) 江別市公民館の2階図書室を拡充整備し、約1,000冊の図書を購入。同時に規則などを整備。
- 1963年(昭和38年) 2月 市民の利用始まる。中学生以上一人1冊、1週間の館外貸出しを開始。
- 1969年(昭和44年) 第2公民館(現野幌公民館)の設置に伴い江別市中央公民館と改称。
- 1970年(昭和45年) 6月 児童書を購入、貸出しを開始。貸出数が飛躍的に増加。貸出冊数を一人2冊、2週間とする。
- 1972年(昭和47年) 図書室を中央公民館1階に移設。
- 1974年(昭和49年) 1月 大麻公民館開館。同時に図書室を併設し蔵書数3,000冊で貸出しを開始。第2公民館は野幌公民館と改称。
- 1975年(昭和50年) 6月 野幌公民館に図書室を併設。3公民館に図書室設置となる。
- 1980年(昭和55年) 4月 中央公民館に司書を配置。
- 1984年(昭和59年) 5月 社会教育委員の会議に「図書館建設について」諮問。
11月 野幌公民館新築移転。同時に司書を配置。社会教育委員の会議より「図書館建設について」答申が出される。翌年には大麻公民館にも司書配置。
- 1985年(昭和60年) 1月 通産省「ニューメディア・コミュニティ構想」事業の準モデル地域指定となる。テーマは「教育情報システムのあり方」。
3月 (財)ニューメディア開発協会が「教育情報システムに関する調査」について、江別市をケーススタディ地域として実施。
- 1986年(昭和61年) 図書館建設基本設計のための予算計上。(14,900千円)
- 1987年(昭和62年) 7月 図書館建設決定。準備室を設置。
9月 起工。 用地取得費 540,542千円
総工事費 763,318千円
内訳 主体付帯工事費 682,008千円
外構工事(平成元年) 81,310千円
- 1988年(昭和63年) 7月 竣工。(北海道補助金70,000千円)
- 1989年(平成元年) 3月 江別市情報図書館条例制定。3公民館図書室を分館とする。
8月 江別市情報図書館開館。3分館とオンラインにより業務を開始。
9月 中央公民館新築移転に伴い江別分館移転。
- 1990年(平成2年) 10月 市内小中学校とのオンラインネットのテスト開始。
- 1991年(平成3年) 7月 開館以来の貸出資料数累計100万冊を越える。
10月 市内全小中学校とのオンラインネット完成。
(インターネットに移行)
- 1992年(平成4年) 10月 札幌市中央図書館とのオンラインネット完成。
(インターネットに移行)
- 1993年(平成5年) 2月 北海道社会教育総合センターとのネットワーク完成。
(インターネットに移行)
- 1994年(平成6年) 9月 図書館システムの更新に伴い、利用者用図書検索機を導入。

- 1994年(平成6年) 9月 情報ガイドをINS回線によりオンライン化し、コミュニ・ネットに更新。
- 1995年(平成7年) 4月 図書館本館増築設計のための予算計上。(7,060千円)
6月 増築事業費を予算計上。(173,822千円)
9月 増築工事起工。
- 1996年(平成8年) 3月 増築工事竣工。レファレンスルーム、保存書庫を増設し、CD-ROM利用者用検索パソコン導入。利用者用図書検索機増設。
4月 北海道立図書館オンライン端末のテストを開始。
9月 本館駐車場の拡張工事実施。38台から56台に増設。
10月 インターネットのホームページ開設。
(1999年4月 <https://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp>に変更)
- 1997年(平成9年) 4月 豊幌小学校において、学校図書館地域開放事業を蔵書数10,000冊で開始。
10月 札幌市広域圏組合による図書館ネットワーク事業開始。大麻公民館新築移転に伴い大麻分館移転。
- 1998年(平成10年) 衛星通信利用の講座・研修会実施。(7月、10月、2月)
12月 ビデオレポーター事業開始
- 1999年(平成11年) 6月 電算システム更新。利用者検索機を本館に4台、公民館内の分館に各1台を導入。
9月 コミュニ・ネットシステムをインターネットに全面移行。インターネット公共端末を本館内に2台、3公民館に各1台設置。インターネット上からの蔵書検索システムを近隣図書館に開放。
- 2000年(平成12年) 4月 「子ども読書年」・子ども読書なんでも相談事業実施。
5月 インターネット上からの蔵書検索システムを一般に開放。
- 2001年(平成13年) 4月 野幌分館を閉館。
祝日開館開始。
12月 本館駐車場の拡張工事実施。56台から83台に増設。
- 2002年(平成14年) 4月 完全学校週5日制導入により豊幌小学校図書室開館時間延長。
(第1、第3土曜日も午前10時より開館)
- 2004年(平成16年) 4月 一人あたり貸出資料数制限5冊から20冊へ増冊。視聴覚ライブラリー資料個人貸出開始。一人5点まで期限1週間で館外貸出。
5月 利用者カード発行システムを変更し翌日交付から即日交付開始。
9月 電算システム更新。利用者検索機を本館7台に増設し携帯電話からの蔵書検索を開始。
11月 第1回雑誌リサイクル市を開催。
- 2005年(平成17年) 1月 インターネットからの予約サービスを開始。
- 2006年(平成18年) 1月 本館に闘病記コーナーを新設する。
4月 学校図書館へ情報図書館司書派遣モデル事業を開始。
4月 本館開館時間の延長の試行を開始。
(火・土曜日の閉館時間午後5時を午後7時へ)
毎月第2金曜日午後からの図書整理日を廃止。

- 2007年(平成19年) 3月 江別市子どもの読書活動推進計画を策定。
7月 学校図書館へ派遣司書を1名から2名へ増員。
- 2009年(平成21年) 4月 学校図書館支援司書を1名配置。
8月 情報図書館開館20周年。
- 2011年(平成23年) 3月 電算システム更新。携帯電話からの予約サービスを開始。
4月 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業により、派遣司書4名を増員し計6名となる。
10月 ノーベル化学賞受賞鈴木章記念文庫(190冊)の開設。
- 2012年(平成24年) 7月 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊が来館。
- 2013年(平成25年) 4月 「住民生活に光をそそぐ交付金」事業の終了に伴い、派遣司書4名が減員となるが、別に派遣司書1名を増員し計3名となる。
- 2014年(平成26年) 3月 第2期江別市子どもの読書活動推進計画を策定。
- 2015年(平成27年) 8月 江別太小学校において、学校図書館地域開放事業を蔵書数8,055冊で開始。
- 2018年(平成30年) 1月 電算システム更新。ホームページのデザイン更新及びスマートフォン対応。インターネット上での再貸出が可能に。
- 2019年(平成31年) 3月 第3期江別市子どもの読書活動推進計画を策定。
4月 音声資料(CD・カセット)の貸出数を一人1点から2点までとする。
- 2019年(令和元年) 8月 情報図書館開館30周年。Facebookアカウントを開設。
12月 市民交流施設(ぷらっと)において、インターネット予約の資料貸出、返却業務を開始。
- 2021年(令和3年) 3月 江別市情報図書館長寿命化計画を策定。
- 2022年(令和4年) 12月 本館にYA(ヤング・アダルト)コーナーを新設する。

3 機構・職員

(1) 機構（令和5年4月1日現在）



(2) 職員

区分	正職員	会計年度任用職員			職員合計
		司書	業務補助員	事務補助員	
本館	8	13	10	2	33
江別分館		1	2		3
大麻分館		2	3		5
学校司書		4			4
合計	8	20	15	2	45

注 豊幌小学校図書館の開館日（水・土・日）は、本館司書、業務補助員各1名が勤務

注 江別太小学校図書館の開館日（土・日）は、本館司書、業務補助員各1名が勤務

4 予 算（当初予算）

（1）経 常 費

（単位：千円）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
情 報 図 書 館 費	85,081	88,010	87,798	92,961
1. 報 酬	43,472	43,527	43,185	44,050
3. 職 員 手 当 等	6,058	9,140	9,140	8,705
賃 金	0	0	0	0
7. 報 償 費	433	432	436	448
8. 旅 費	62	60	60	54
10. 需 用 費	12,355	12,218	12,337	16,235
11. 役 務 費	1,327	1,329	1,320	1,307
12. 委 託 料	20,689	20,720	20,736	21,580
13. 使用料及び賃借料	602	503	503	503
17. 備 品 購 入 費	0	0	0	0
18. 負担金補助金及び交付金	83	81	81	79

（2）臨 時 費

（単位：千円）

令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
図書館資料整備	20,500	図書館資料整備	20,500	図書館資料整備	19,620	図書館資料整備	19,620
図書館設備等 更 新	20,353	図書館設備等 更 新	20,353	図書館設備等 更 新	21,504	図書館設備等 更 新	21,820
子どものための 読書環境整備	8,246	子どものための 読書環境整備	8,246	子どものための 読書環境整備	8,749	子どものための 読書環境整備	11,159
市民交流施設 関 連 経 費	2,010	市民交流施設 関 連 経 費	2,010	市民交流施設 関 連 経 費	2,359	市民交流施設 関 連 経 費	2,428
合 計	51,109	合 計	51,109	合 計	52,232	合 計	55,027

5 蔵書冊数等の推移

(1) 蔵書冊数

(各年度末、単位：冊)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	332,176	328,872	328,818	327,450	330,928
江 別 分 館	28,992	29,260	29,214	29,731	29,938
大 麻 分 館	42,426	42,040	41,832	41,006	41,067
豊 幌 小 学 校	24,135	24,650	24,964	25,038	24,899
江 別 太 小 学 校	13,163	14,165	15,068	15,817	16,595
学 校 支 援 用	7,614	7,565	7,504	7,568	7,744
蔵 書 総 数	448,506	446,552	447,400	446,610	451,171

(2) 所蔵雑誌冊数

(各年度末、単位：冊)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	21,498	19,993	19,017	19,056	18,968
江 別 分 館	792	805	692	606	437
大 麻 分 館	1,321	1,386	1,365	1,379	1,348
豊 幌 小 学 校	838	879	731	513	482
江 別 太 小 学 校	318	296	240	246	284
総 雑 誌 数	24,767	23,359	22,045	21,800	21,519

(3) AV資料数

(各年度末、単位：本・枚)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ビデオテープ	4,111	4,125	4,117	4,072	3,985
L D	1,843	1,843	1,843	1,843	1,843
D V D	583	611	637	676	774
C D	7,529	7,625	7,679	7,712	7,733
カセットテープ	1,568	1,556	1,526	1,529	1,512
そ の 他	1,342	1,372	1,367	1,418	1,435
総 資 料 数	16,976	17,132	17,169	17,250	17,282

注 視聴覚ライブラリー資料を含む。

6 利用状況総括

(1) 利用資料数の推移

(単位:点、日)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	575,208	496,978	423,827	365,431	431,910
江 別 分 館	59,730	52,251	43,680	38,321	47,385
大 麻 分 館	134,126	110,756	98,262	80,474	95,182
豊幌小学校	12,109	8,433	10,666	8,820	9,885
江別太小学校	10,894	10,328	9,136	10,033	10,712
ぶらっと	—	2,018	12,954	10,955	13,516
総 数	792,067	680,764	598,525	514,034	608,590
開館日数	291	270	259	228	287
1日当たり	2,722	2,521	2,311	2,255	2,121

注 団体を除く。

(2) 資料利用者数の推移

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本 館	133,327	117,985	92,533	78,495	93,176
江 別 分 館	14,258	12,808	10,574	9,031	11,627
大 麻 分 館	34,681	29,371	25,068	20,788	25,869
豊幌小学校	3,382	2,198	2,919	2,441	2,819
江別太小学校	3,855	3,613	3,575	3,239	3,148
ぶらっと	—	928	5,679	5,006	6,214
総 数	189,503	166,903	140,348	119,000	142,853
1日当たり	702	644	616	522	498

注 団体を除く。

(3) 団体貸出の推移

(単位:件、冊)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貸出団体数	187	196	208	216	232
(延べ数)	2,180	(2,202)	(1,801)	(1,641)	(1,958)
貸出冊数	18,765	17,618	16,609	16,425	16,633

(4) 貸出登録者数の推移

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者登録数	36,148	38,044	39,378	40,681	42,370
貸出登録者数	15,960	14,394	11,799	11,171	11,925

(5) AV資料利用数の推移

(各年度末、単位:本・枚)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ビデオテープ	2,050	2,159	8	0	39
L D	283	294	0	0	12
D V D	6,059	5,728	1,927	1,407	1,334
C D	24,216	20,856	14,640	11,086	14,190
カセットテープ	458	250	151	220	87
その他(CDROM他)	0	0	0	0	0
総資料利用数	33,066	29,287	16,726	12,713	15,662

注 視聴覚ライブラリー資料を含む。

(6) 図書館資料相互貸借の推移

(単位:冊)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国 立 国 会	10	3	2	1	3
北 海 道 立	776	603	714	605	549
札 幌 市	398	296	330	282	359
そ の 他	789	848	988	924	1,024
借 受 合 計	1,973	1,750	2,034	1,812	1,935
貸 出	1,436	1,383	1,227	1,145	547

(7) レファレンスサービス等件数の推移

(単位:件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
レ ファ レン ス	口 頭	13,334	11,822	12,342	10,895	13,573
	電 話	886	1,092	3,062	2,531	2,986
	文 書	0	0	0	0	0
	合 計	14,220	12,914	15,404	13,426	16,559
予 約 件 数	105,844	103,982	125,065	107,733	107,447	
リクエスト件数	4,959	4,029	4,764	4,249	4,981	

注 レファレンス件数は、国立国会図書館の統計基準を採用。

(8) 市民一人当たり指標、その他の指標の推移

区 分	資料費	蔵書数	貸出冊数	利用者登録率	各年度末人口
平 成 30 年 度	186円	3.8冊	6.67冊	30.4%	118,814人
令 和 元 年 度	183円	3.7冊	5.70冊	31.9%	119,409人
令 和 2 年 度	172円	3.7冊	5.01冊	33.0%	119,502人
令 和 3 年 度	166円	3.8冊	4.31冊	34.2%	119,136人
令 和 4 年 度	166円	3.8冊	5.12冊	35.7%	118,782人

注 「資料費」については当初予算を基に算出。

II 各施設の概要

1 情報図書館本館

所 在	江別市野幌末広町7番地
開 設	平成元年8月
構 造	鉄筋コンクリート造2階建、 一部地下1階建
敷地面積	12,148.90㎡
建築面積	2,147.79㎡
延べ床面積	2,821.26㎡
電話・FAX	384-0202、(FAX)385-1129
開館時間	金・日曜日：10時～17時 火・土曜日：10時～19時（試行） 水・木曜日：10時～21時
休館日	毎週月曜日、年末年始、図書整理日（毎月第4金曜日）、 特別図書整期間（6月中の1週間）



概況	蔵書冊数	338,672冊
	（一般書	249,039冊
	児童書	62,759冊
	郷土	26,874冊

※冊数に学校支援用図書を含む。

江別市における図書館奉仕の中核施設として、資料の収集・保存・参考調査を行うほか、他の公共図書館等との間で資料の相互貸借を行うなど、利用者への資料提供を総合的に行っています。

その他にも、点訳本、カセットテープの郵送サービス、さらにはパソコン教室、その他の各種事業を開催するなど、生涯学習施設として様々な活動を行っています。

◆本館の主要施設・設備

1階

AVコーナー	ビデオ・LD・DVD兼用ブース10台、 CDブース5台
一般図書コーナー	8万冊収容の書架、利用者用検索端末2台
児童図書コーナー	2万冊収容の書架、利用者用検索端末1台
保存書庫	3万冊収容の書架
整理書庫	3万冊収容の書庫
カウンター	業務用端末4台
レファレンスルーム	1万冊収容の書架 業務用端末3台 CD-ROM検索パソコン1台
ボランティア活動室	点字用パソコン5台、点字プリンター2台
録音室	録音資料作成スタジオ、録音設備、対面朗読室

2階

ビデオ視聴室	100インチスクリーン、ビデオプロジェクション、映像音響設備
コンピュータ学習室	パソコン11台（講師用1台、学習用10台） 3Dプリンター
デモ実験室・展示室	科学実験設備、展示設備
保存書庫	10万冊収容の書庫

2 情報図書館江別分館

所 在	江別市3条5丁目11番地の1 中央公民館内
設 置	昭和38年2月
開 設	平成元年9月
構 造	鉄筋コンクリート造3階建
図書館面積	92㎡
電話・FAX	385-1372(FAX兼用)
開館時間	火～日曜日：10時～17時
休館日	本館と同じ

概 況	蔵書冊数	29,938冊
	一般書	15,896冊
	児童書	12,990冊
	郷土	1,052冊



3 情報図書館大麻分館

所 在	江別市大麻中町26番地の7 大麻公民館内
設 置	昭和49年1月
開 設	平成9年10月
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
図書館面積	161㎡
電話・FAX	387-1634(FAX兼用)
開館時間	火～日曜日：10時～17時
休館日	本館と同じ

概 況	蔵書冊数	41,067冊
	一般書	26,590冊
	児童書	12,858冊
	郷土	1,619冊



4 豊幌小学校図書館

所 在 江別市豊幌419番地
豊幌小学校内
設置・開設 平成9年4月
構 造 鉄筋コンクリート造2階建
図書館面積 123㎡
電話・FAX 383-4486(FAX兼用)
開館時間 水曜日 : 14時~17時
土・日曜日 : 10時~17時
休館日 本館と同じ日に加えて火・木・
金曜日・祝日

概況	蔵書冊数	24,899冊
	一般書	11,539冊
	児童書	12,843冊
	郷土	517冊



※地域開放事業は学校行事等により上記以外も休館となる場合あり。

5 江別太小学校図書館

所 在 江別市朝日町25番地
江別太小学校内
設置・開設 平成27年8月
構 造 鉄筋コンクリート造2階建
図書館面積 180㎡
電話・FAX 382-2600(FAX兼用)
開館時間 土・日曜日 : 10時~17時
休館日 本館と同じ日に加えて火・水・
木・金曜日

概況	蔵書冊数	16,595冊
	一般書	10,333冊
	児童書	5,931冊
	郷土	331冊



※地域開放事業は学校行事等により上記以外も休館となる場合あり。

6 図書等貸出・返却窓口

市民交流施設「ぷらっと」内 江別市民活動センター・あい

所 在	東野幌本町 6 番地の43
設置・開設	令和元年12月
構 造	鉄筋コンクリート造 1 階建
窓口面積	30㎡
電話・FAX	384-0202、(FAX385-1129) ※情報図書館本館
利用時間	月～金曜日：10時～21時 土・日曜日・祝日：10時～18時
休業日	年末年始
取扱業務	インターネットで予約した 資料の受け取りや、本館・ 分館で借りた資料の返却など



Ⅲ 事 業

1 読書普及等事業

情報図書館は、図書資料の貸出サービスを中心に運営を行っていますが、周辺活動として読書普及事業も積極的に実施しています。

主なものとして、本館及び分館の幼児・児童を対象とした「おはなし会」を定期的で開催しているほか、読書週間などにあわせた各種展示会を開催しています。

(1) おはなし会の開催実績

(単位：件、人)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全館合計	327	319	298	241	167	241
	3,558	3,420	3,403	2,236	1,508	2,236

注 読書普及事業以外で行われたおはなし会を含む。

(2) 文学講演会等事業

平成10年度	2月	上田 三三生	「良寛その人とうた」
平成11年度	9月	丘 修三	「今 児童文学の目指すもの」
平成13年度	12月	高樓 方子	「本を書くことをめぐって」
平成14年度	2月	山本 真基子	「楽しいおはなしとパネルシアター」
平成15年度	1月	本木 洋子／高田 三郎	「よみがえれ、えりもの森」
平成16年度	8月	北本 京子	語り芝居「おこりじぞう」
平成18年度	1月	劇団「すぎのこ」	影絵紙芝居づくり講習会

(3) 自分史講座文集発行

平成9年度	第二集	「あのひと この人」
平成10年度	第三集	「出会い」
平成11年度	第四集	「邂逅」
平成12年度	第五集	「新世紀」
平成13年度	第六集	「あしたの風」

2 展示室事業

平成28年度	8月	星のおはなし展	
	11月	昭和が歴史になる～映し出された昭和の江別～	
	1月	「しかけ絵本と大型絵本」展	
平成29年度	7月	星のおはなし展	12月 えべつ土曜広場作品展
	2月	「しかけ絵本と大型絵本」展	3月 おはなしいっぱい20周年記念展
平成30年度	7月	星のおはなし展	10月 土佐市友好都市提携40周年展
	12月	「えべつ土曜広場」作品展	1月 「しかけ絵本と大型絵本」展
令和元年度	8月	情報図書館30周年記念事業	12月 「えべつ土曜広場」作品展
	1月	「しかけ絵本と大型絵本」展	
令和2年度	8月	こわい本展覧会	9月 防災・減災展示会
	11月	えほんのじかん展	1月 しかけ絵本と大型絵本展
令和3年度	8月	こわい本展	10月 アートな本展
	11月	あなたの暮らしとものづくり展	2月 しかけ絵本と大型絵本展
令和4年度	7月	こわい本展覧会	10月 江別の歴史展
	11月	「えべつ土曜広場」作品展	2月 「しかけ絵本と大型絵本」展

3 ビデオ視聴室事業

ビデオ視聴室にはビデオプロジェクターなどを備えており、映画会や講演会などを開催しています。

映画会開催・参加状況

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
こども映画会	回数	51	44	33	31	46
	人数	223	151	85	119	200
日曜映画会	回数	51	44	33	31	46
	人数	463	217	116	118	213
特別映画会	回数	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0
名作映画会	回数	11	9	0	0	11
	人数	249	185	0	0	81
合計	回数	113	97	66	62	103
	人数	935	553	201	237	494

4 コンピュータ学習室事業

コンピュータ学習室では、図書館主催のパソコン教室や EPOC(江別パソコン利用研究会)との共催の講習会などを開催しています。また、毎月第一・第三の土・日曜日には教室を一般に開放し、インターネット体験を実施しています。

(1) コンピュータ教室開催・参加状況

教室名	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数	開催回数	応募者数	受講者数
初心者パソコン	16	120	97	18	132	102	16	59	56	12	90	53	17	66	63
EPOC講習会	10	105	73	10	88	65	8	58	47	8	65	38	10	44	42
その他	1	6	6	1	3	3	1	5	4	1	4	4	1	2	2
合計	27	231	176	29	223	170	25	122	107	21	159	95	28	112	107

※EPOC講習会は自由参加の相談室含む

(2) コンピュータ学習室事業開催・利用状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	71	50	55	52	72
利用者数	2,338	1,883	895	1,087	1,714

5 視聴覚ライブラリー事業

情報図書館に視聴覚ライブラリーを設置しています。視聴覚ライブラリーには、視聴覚教育に必要な機器や教材をそろえ、学校教育、社会教育の利用に提供しています。

(1) 視聴覚ライブラリー保有機器

機器名	保有台数
16ミリ映写機（内臓+専用スピーカー付き）	1
16ミリ映写機（内臓スピーカー）	1
8ミリ映写機（専用スピーカー付き）	1
プロジェクター	3
OHP	1
OHC	1
スライド映写機	2
ビデオデッキ	1
DVDプレイヤー	1
ブルーレイディスクプレイヤー	1
デジタルビデオカメラ	1
8ミリビデオカメラ	1
80インチスタンドスクリーン（4：3）	3
60インチスタンドスクリーン（4：3）	1
暗幕	1

(2) 教材

ソフト種別	保有本数
DVD教材	1,331 本
ビデオ教材	783 本
レーザーディスク教材	77 本
CD-ROM教材	2 本

(3) 視聴覚ライブラリー機器・教材貸出状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
16mm映写機	0	0	0	0	0
8mm映写機	0	1	0	2	0
プロジェクター	51	39	19	48	29
OHP	0	0	0	0	0
OHC	0	4	0	0	0
スライド映写機	0	0	0	0	0
ビデオデッキ	0	0	0	0	0
DVDプレイヤー	7	0	2	3	0
ブルーレイプレイヤー	0	1	2	3	0
ビデオカメラ	0	1	0	5	2
スクリーン	41	34	15	28	10
暗幕	0	1	3	2	1
16mmフィルム	0	0	0	0	0
延長コード	0	1	0	0	0
ビデオソフト	26	35	7	2	3
DVDソフト	3,026	2,331	1,925	1,404	1,184
合計	3,151	2,448	1,973	1,497	1,229

IV 資 料

1 図 書

(各年度末、単位：冊)

分 類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0 総 記	一般	10,302	10,350	10,396	10,418	10,415
	児童	2,316	2,315	2,226	2,280	2,319
1 哲 学	一般	12,480	12,589	12,728	12,504	12,662
	児童	850	790	761	782	814
2 歴 史	一般	24,115	24,210	23,992	24,237	24,439
	児童	4,842	4,657	4,605	4,575	4,623
3 社会科学	一般	43,753	43,386	43,803	43,896	44,144
	児童	3,719	3,601	3,578	3,613	3,753
4 自然科学	一般	19,526	19,606	19,864	20,333	20,839
	児童	7,498	7,197	7,122	7,111	7,253
5 技 術	一般	25,142	25,055	24,582	24,653	24,899
	児童	2,538	2,440	2,392	2,435	2,481
6 産 業	一般	10,791	10,722	10,826	10,983	11,103
	児童	2,044	1,987	1,999	2,035	2,055
7 芸 術	一般	28,233	28,325	28,331	28,447	28,461
	児童	5,416	5,187	5,163	5,082	5,138
8 言 語	一般	5,645	5,768	5,836	5,904	5,958
	児童	1,194	1,186	1,184	1,192	1,196
9 文 学	一般	132,423	131,788	132,218	128,881	130,477
	児童	77,975	77,021	76,707	77,352	77,749
一般書計		312,410	311,799	312,576	310,256	313,397
児童書計		108,392	106,381	105,737	106,457	107,381
郷土資料		27,704	28,372	29,087	29,897	30,393
合 計		448,506	446,552	447,400	446,610	451,171

2 雑誌

◎一般書扱い ○購入 △寄贈

No.	雑誌名	所蔵館名					No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太			本	江	大	豊	太
1	あ あうる	△					57	け 毛糸だま	○				
2	AERA	○					58	月刊 おりがみ	○				
3	朝日新聞縮刷版	○					59	月刊 碁ワールド	○				
4	アニメージュ	○					60	月刊 自家用車		○			
5	ALBA TROSSVIEW	○					61	月刊 社会教育	○				
6	anan	○					62	月刊ニュースがわかる	○				
7	い 一個人					○	63	月刊バスケットボール	○				
8	一枚の絵	○					64	月刊 バレーボール	○				
9	いぬのきもち	○					65	月刊 保育とカリキュラム	○				
10	イラストレーション	○					66	健康					○
11	う With	○					67	健康365					△
12	美しいキモノ	○					68	原始林	△	△	△		
13	宇波百合				△		69	現代の図書館	△				
14	え 栄養と料理	○					70	航空ファン	○				
15	ESSE					○	71	皇室	△		△		
16	NHKガッテン					○	72	コットンタイム		◎	◎		
17	NHK きょうの健康	○		○			73	Cotton friend				○	
18	NHK きょうの料理		○	○			74	kodomoe		○			
19	NHKきょうの料理ビギナーズ					○	75	こどもとしゃかん	○				
20	NHK 趣味の園芸	○					76	子供の科学	○				
21	NHK趣味の園芸 やさいの時間					○	77	こどものとも	○		○		
22	NHK すてきにハンドメイド		○	○			78	こどものとも0.1.2	◎		◎		
23	絵本とおはなし	○					79	こどものとも 年少版	○	○			
24	園芸ガイド				○	○	80	こどものとも 年中向き		○		○	
25	お おおきなポケット	○					81	こどもの本	△				
26	オートメカニック	○					82	子どもの本棚	○				
27	オール讀物			○			83	この本読んで!	○				○
28	O. Tone	△					84	辛夷	△				
29	おはよう21	○					85	コンクリート工学	△				
30	おひさま	○					86	さ 財界さっぽろ		○	○		
31	alterna	△					87	サッカーダイジェスト	○				
32	オレンジページ		○	○			88	ZAKKA BOOK	◎				
33	か Casa BURUTUS				○		89	さっぽろ経済	△				
34	ガーデン&ガーデン	○					90	札幌人	○				
35	会社四季報	○					91	サライ			○		
36	かがくのとも		○	○			92	サンデー毎日	○				
37	かぞくのじかん				○		93	し GQ JAPAN	○				
38	学校図書館	○					94	CQ ham radio	○				
39	学校図書館速報版	○					95	CDジャーナル				○	
40	CUT	○					96	JTB 時刻表	○	○	○		
41	家庭画報	○					97	時空旅人				○	
42	Come home!	◎					98	社会運動	○				
43	カントリークラフト	◎					99	じゃらん		○		○	
44	き キネマ旬報	○					100	週刊朝日	○				
45	教育	○					101	週刊エコノミスト	○				
46	キルトジャパン	○					102	週刊金曜日	○				
47	く ku:nel			○			103	週刊新潮	○			○	
48	クーヨン	○					104	週刊東洋経済				○	
49	クオリティ	○					105	週刊日販速報	△				
50	区画整理士会報	△					106	週刊文春	○			○	
51	暮らしの手帖			○	○		107	週刊ベースボール	○				
52	クララ				○		108	ジュニアエラ	○				
53	CREA					○	109	ジュリスト	○				
54	クロワッサン	○			○		110	ジュリスト増刊	○				
55	群像	○					111	ジュリスト臨時増刊	○				
56	け 芸術新潮	○					112	将棋世界	○				

No.	雑誌名	所蔵館名					No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太			本	江	大	豊	太
113	し 小説現代	○					169	に 日経ヘルス	○				
114	小説新潮			○			170	日経マネー		○			
115	小説推理	○					171	日本カメラ	○				
116	小説すばる	○					172	Newton	○				
117	書齋の窓	△					173	ね ねこのきもち	○				
118	書写書道	△					174	の North Angler's	○				
119	新潮	○					175	nonno	○				
120	人民中国	△					176	は BIRDER	○				
121	す SWIMMING MAGAZINE	○					177	俳句	○				
122	SKI GRAPHIC	○					178	BiCYCLE CLUB	○				
123	スクリーン			○			179	パソコンで読む 北海道新聞	○				
124	すばる	○					180	パッチワーク通信	○				
125	Sports Graphic Number	○					181	パッチワークレッスン帳	◎				
126	スマッシュ	○					182	バドミントンマガジン	○				
127	墨	○					183	母の友	○				
128	すみごこち	△					184	haru mi	◎				
129	相撲	○					185	ハルメク		○	△		
130	スロウ	○					186	ひ PE 技術士	△				
131	せ 青春と読書	△					187	PHPのびのび子育て	○				
132	世界	○					188	BEPAL			○		
133	世界思想	△					189	美術手帖	○				
134	そ 装苑	○					190	BISES	○				
135	壮快	○					191	ふ faura	○	◎			
136	総合教育技術	○					192	Fishing Cafe	△		△	△	△
137	育てる	△					193	フォトコン		○			
138	ソトコト	○					194	婦人画報			○		
139	SOFTTENNIS MAGAZINE	○					195	婦人公論	○		○		
140	宇宙のとびら					△	196	婦人之友	○				
141	た TIME	○					197	武道	△				
142	ダ・ヴィンチ					○	198	PLUS 1 Living	◎				
143	たくさんのふしぎ	○				○	199	プレジデント	○				
144	卓球王国	○					200	プレストレストコンクリート	△				
145	短歌研究	○					201	文学界	○				
146	DANCE MAGAZINE	○					202	文芸春秋	○	○			
147	ち ちいさなかがくのとも					○	203	べ 別冊サライ	◎				
148	ちくま	△					204	別冊 ジュリスト	○				
149	致知	△					205	ほ HO【ほ】			○		○
150	CHANTO	△					206	Voice	○				
151	中央公論	○					207	北海道新聞縮刷版	○				
152	つ 壺	△					208	北海道生活	○				
153	つり人	○					209	ほっかいどう 点字版	△				
154	て 鉄道ファン	○					210	北海道のつり	○		○		
155	天然生活					○	211	北方圏	△				
156	天文ガイド	○					212	poroco	○		○		
157	と 道新受験情報	◎					213	本の雑誌		○			
158	図書	△					214	ま Mart			○		
159	図書館界	△					215	My GARDEN マイガーデン					○
160	図書館雑誌	△					216	MyLoFE	△	△	△	△	
161	土木学会誌	△					217	まち・むら	△				
162	な ナショナルジオグラフィック日本版	○					218	Mac Fan	△				
163	波	△					219	MAMOR	△				
164	に 日経 WOMAN	○					220	丸	○				
165	日経おとなのOFF	○					221	み みすず	△				
166	日経サイエンス	○					222	ミステリマガジン	○				
167	日経パソコン	○					223	ミセス				△	
168	日経ビジネス	○					224	ミセスのスタイルブック	◎	◎			

◎一般書扱い ○購入 △寄贈

No.	雑誌名	所蔵館名				
		本	江	大	豊	太
225	み 道	○				
226	未来	△				
227	みんなの図書館	○				
228	も MORE	○				
229	MOE	○	○			
230	MOTOR MAGAZINE	○				
231	モーリー	△				
232	モーリー通信	△	△	△	△	△
233	monoマガジン		○			
234	樫	△	△	△	△	
235	や 野鳥	○				
235	山と溪谷	○				
236	ゆ ゆうゆう			○		
237	ユリイカ	○				
238	ら ランティエ	△				
239	ランナーズ	○				
240	り LEE				○	
241	れ 歴史街道			○		
242	レコード芸術	○				
243	レタスクラブ				○	
244	ろ ロータリーの友	△				
245	rockin'on	○				
246	わ 私の家づくり	◎				
247	私のカントリー		◎			
小計		195	29	43	14	13
計		294				

※一般書扱いの雑誌については、当館HP「所蔵雑誌一覧」には掲載していません。

3 新 聞

(1) 所蔵館別提供新聞

区 分	本 館	江 別 分 館	大 麻 分 館	豊 幌 小 学 校	江 別 太 小 学 校
北 海 道 新 聞	○	○	○		
朝 日 新 聞	○	○	○		
毎 日 新 聞	○	○	○		
読 売 新 聞	○	○	○		
日 本 経 済 新 聞	○		○		
産 経 新 聞	○				
日 刊 ス ポ ー ツ	○				
ジ ャ パ ン タ イ ム ズ ウ ィ ー ク エ ン ド	○				
日 本 農 業 新 聞	○				
朝 日 ウ ィ ー ク リ ー	○				
福 島 民 友	○				
福 島 民 報	○				

(2) マイクロフィルム

北海道新聞 明治20年 ~昭和62年12月

(3) 縮 刷 版

北海道新聞 昭和42年4月~

朝日新聞 昭和43年7月~

4 情報図書館で活動するボランティア

(1) おはなし会等

- ・鈴木 紀子
- ・根上 幸栄
- ・村住とも子
- ・片桐 亜結子
- ・松山 和子
- ・おはなしなあに
- ・ねぎぼうず
- ・おはなしポケット
- ・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭
- ・オリオンの帯
- ・シアターとんとん
- ・おはなしくまさん
- ・ひまわり

(2) 点訳

- ・点字ろくの会
- ・つなぎふ
- ・点訳の輪

(3) 音声訳

- ・朗読ボランティアグループ まちの灯

(4) パソコンボランティア

- ・江別パソコン利用研究会 (EPOC)

V 条例、規則

平成元年 3月31日
条例 第22号

1 江別市情報図書館条例

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号)第10条に基づき、江別市情報図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
江別市情報図書館	江別市野幌末広町7番地

(分館の設置)

第3条 江別市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要に応じて分館を設置することができる。

(事業)

第4条 図書館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 図書、記録、視聴覚の資料その他必要な資料(以下「資料」という。)を収集、整理、保存して、市民の利用に供すること。
- (2) 読書会、研究会、鑑賞会、映画会、資料展示等に関すること。
- (3) 生活情報、学習情報等の提供に関すること。
- (4) 視聴覚機器及び情報機器活用による学習、研修等に関すること。
- (5) 科学実験学習、研修等に関すること。
- (6) 館報その他読書資料の発行等に関すること。
- (7) 学校、公民館、関係研究機関、他の図書館等と緊密に連絡し、協力すること。
- (8) その他図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第5条 図書館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 開館時間 午前10時から午後5時まで。ただし、第3条の規定により設置した分館を除き、水曜日及び木曜日については、午後9時までとする。
- (2) 休館日
 - ア 月曜日
 - イ 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項第2号に掲げるもののほか、次に掲げる日又は期間は、資料及び生活情報、学習情報等の提供については、市民の利用に供さないものとする。

- (1) 整理日 毎月第2金曜日の正午から午後5時まで及び第4金曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる場合を除く。)
- (2) 特別整理期間 6月中の1週間

(資料の館外利用)

第6条 教育委員会が定める一定の条件を備える者は、図書を館外に借り出して、閲覧することができる。

2 前項により借り出して閲覧しようとするときは、教育委員会の定めるところにより館長の許可を受けなければならない。

(入館の制限)

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館に入館しようとする者の入館を拒否し、又は入館している者を退館させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。

(2) 建物、付属設備、資料、備付物品等をき損し、又は滅失するおそれがあるとき。

(3) その他図書館の管理運営上支障があるとき。

(損害賠償)

第8条 図書館に入館した者は、入館によって建物、付属設備、資料、備付物品等をき損し、又は滅失したときは、市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(資料の寄贈及び寄託)

第9条 図書館は、一般の利用に供する目的で、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料は、別段の契約がある場合のほか、図書館所蔵のものと同じ取扱いとする。

3 寄託を受けた資料が、火災、盗難、その他不可抗力の災害により損害を受けた場合は、市は、その賠償の責任を負わない。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、図書館の管理運営上必要があると認めるときは、指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に図書館の管理を行わせることができる。

2 前項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合の当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

(1) 施設の運営及び維持管理（教育委員会が定めるものを除く。）

(2) 第4条各号に掲げる事業の計画及び実施

(3) 上記業務に付随する業務

3 第1項の規定により指定管理者に管理を行わせる場合にあつては、第5条から第7条までの規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」として、これらの規定を適用する。

(委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(附則は省略)

2 江別市情報図書館条例施行規則

平成元年 6月30日
教育委員会規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、江別市情報図書館条例(平成元年条例第22号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(分館)

第2条 条例第3条の規定に基づき設置する分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
江別市情報図書館江別分館	江別市3条5丁目11番地の1
江別市情報図書館大麻分館	江別市大麻中町26番地の7

(館内利用)

第3条 図書、記録、視聴覚の資料その他必要な資料(以下「資料」という。)(第4項の資料を除く。)を利用しようとする者は、開架書架によって自由に利用することができる。

- 2 資料は、所定の場所で閲覧し、音読、談話、その他騒がしい行為をしてはならない。
- 3 閲覧済の資料は、速やかに書架に返納しなければならない。
- 4 視聴覚の資料を利用しようとする者は、受付で所定の手続を取らなければならない。

(館外利用者の範囲)

第4条 図書を館外で利用することができる者は、次に掲げるものとする。

- (1) 市内に住所を有する者
 - (2) 市内に住所を有しないが、市内に所在する学校又は事業所等に通学し、又は勤務している者
 - (3) その他江別市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に適当と認めた者
- 2 館長は、前項各号に掲げる者のほか、他の図書館若しくは図書室又は市内の地域団体、読書会、事業所その他館長が適当と認めた団体(以下「団体等」という。)に対しては、図書を館外で利用させることができる。

(図書貸出証)

第5条 図書を館外で利用しようとする者は、図書貸出証交付申込書(第1号様式)を提出し、図書貸出証(第2号様式)の交付を受けなければならない。

- 2 図書貸出証は、他人に使用させてはならない。
- 3 図書貸出証を紛失した場合は、速やかに届け出て、再交付を受けなければならない。
- 4 図書貸出証の交付を受けた者が氏名又は住所等を変更したときは、速やかにその旨を届け出なければならない。

(貸出冊数及び貸出期間)

第6条 図書の貸出冊数及び貸出期間は、団体等が利用する場合を除くほか、次に掲げるとおりとする。

- (1) 貸出冊数は、20冊以内とし、未返納の図書がある場合は、その図書を合わせて20冊を超えないこと。
- (2) 貸出期間は、2週間以内とし、返納期日が休館日に当たるときは、その翌日までとすること。

(団体貸出)

第7条 団体等が図書を館外で利用しようとする場合は、次に掲げるところによる。

- (1) 貸出冊数は、当該団体等の構成員等を考慮して館長が定めること。
- (2) 貸出期間は、30日以内とし、返納期日が休館日に当たるときは、その翌日までとすること。ただし、館長が必要と認めるときはこれを変更することができる。
- (3) 図書の貸出しを受けた団体等の代表者等は、貸出期間中、当該図書について一切の責任を負うこと。

(貸出しの制限)

第8条 館長は、貴重図書等で貸出しすることが適当でないと認めるものについては、貸し出さないことができる。

(施設の使用)

第9条 江別市情報図書館（以下「図書館」という。）のビデオ視聴室、ビデオ編集室、コンピューター学習室、研修室、デモ展示室、デモ実験室（以下「施設」という。）は、社会教育関係団体等が学習又は教材の制作等のために使用する場合は、教育委員会が適当と認めるときに限り使用することができる。

(施設の使用申請)

第10条 前条の規定により、施設を使用しようとする者（以下「申請者」という。）は、江別市情報図書館使用許可申請書（第3号様式）により教育委員会に申請しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(使用許可書の交付)

第11条 教育委員会は、前条の申請書の提出を受けたときは、内容を審査し、使用を許可するときは、江別市情報図書館使用許可書（第4号様式）を申請者に交付する。

(遵守事項)

第12条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 危険物を持ち込み、又は指定された場所以外で火気を使用しないこと。
- (2) 所定の場所以外で飲食し、又は施設内で喫煙をしないこと。
- (3) 騒音を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (4) 建物、付属設備、資料、備付備品等を適切に取り扱うこと。
- (5) 指定の場所以外に車を乗り入れ、又は駐車しないこと。
- (6) その他職員の指示に従うこと。

(寄贈)

第13条 資料の寄贈は、資料寄贈申込書（第5号様式）によって行うものとする。

(寄託)

第14条 資料の寄託をしようとする者は、資料寄託願（第6号様式）によって、館長の承認を受けなければならない。

- 2 館長は、資料の寄託を承認したときは、寄託者に寄託資料受領証（第7号様式）を交付するものとする。
- 3 寄託された資料は、寄託者の請求によりこれを返還する。

(事務分掌)

第15条 図書館の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書資料等の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 館内利用及び館外貸出しに関すること。
- (3) 図書資料及び情報資料の提供並びに読書指導及び相談に関すること。
- (4) 分館活動に関すること。
- (5) 読書の普及啓蒙に関すること。
- (6) 図書館の維持管理に関すること。
- (7) 情報機器、視聴覚機器及び実験機器活用による事業の企画、実施及び奨励に関すること。
- (8) 視聴覚ライブラリーの運営に関すること。
- (9) 教育関係機関及び団体との連携及び援助に関すること。

(職員及び職務)

第16条 図書館に館長を置くものとし、必要な場合は、参事、主査、主任その他必要な職員を置くことができる。

- 2 館長は、上司の命を受けて館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事及び主査の職務については、別に定める。
- 4 前2項の職員以外の職員は、上司の命を受けて図書館業務に従事する。

(指定管理者による管理)

第17条 条例第10条第1項の規定により指定管理者に図書館の管理を行わせる場合にあっては、第4条の規定中「江別市教育委員会（以下「教育委員会」という。）」とあるのは「指定管理者」として、第10条及び第11条の規定中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」として、これらの規定を適用する。

- 2 前項の場合において、図書貸出証交付申込書その他のこの規則に規定する様式は、指定管理者が教育委員会と協議して定めるものとする。

(委任)

第18条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

(附則及び様式は省略)

3 江別市視聴覚ライブラリー規則

昭和45年 8月17日
教育委員会規則第9号

(目的)

第1条 視聴覚教育に必要な機器及び教材の充実、活用によって、江別市における学校教育の充実と社会教育の振興を図るため、江別市視聴覚ライブラリー（以下「ライブラリー」という。）を江別市情報図書館に置く。

(事業)

第2条 ライブラリーは、前条の目的を達成するため次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 学校教育及び社会教育活動に対する視聴覚機器、教材等の貸出しに関すること。
- (2) 視聴覚機器、教材等に関する研修の実施に関すること。
- (3) 視聴覚教材の利用及び製作についての指導助言に関すること。
- (4) 保有機器、教材等の維持管理及び補修に関すること。
- (5) 学習情報及び視聴覚教育資材の収集、分析、保管に関すること。
- (6) 視聴覚教育に関する調査研究に関すること。
- (7) 関係機関、団体との連携及び情報交換に関すること。
- (8) その他視聴覚ライブラリー事業の効果的運営に関すること。

(運営委員会)

第3条 前条の事業を円滑に行うため、江別市視聴覚ライブラリー運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教育部次長
- (2) 総務課長
- (3) 生涯学習課長
- (4) 公民館長
- (5) 社会教育主事
- (6) 校長会代表者
- (7) 江別市教育機器活用研究連盟代表者
- (8) 情報図書館長
- (9) 郷土資料館長

3 運営委員会に委員長を置き、教育部次長をもって充てる。

第4条 運営委員会は、必要に応じ教育部次長が招集し、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) ライブラリーの運営に関すること。
- (2) ライブラリーに必要な機器及び教材の充実に関すること。
- (3) ライブラリーの機器及び教材の活用に関すること。
- (4) その他必要な事項

(貸出対象)

第5条 ライブラリーの機器及び教材の貸出しを受けることができるものは、次の各号に掲げるものとする。ただし、機器については、第4号に掲げる者には貸し出さない。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する市内の学校
- (2) 市内の社会教育関係団体
- (3) 社会教育活動をしようとする市内の団体及び職場
- (4) 江別市情報図書館条例施行規則（平成元年教育委員会規則第8号）第5条第1項に規定する図書貸出証（以下「図書貸出証」という。）の交付を受けた者

（貸出手続）

第6条 貸出しを受けようとするものは、あらかじめ視聴覚機器及び教材借用申請書（第1号様式）を提出し許可を受けなければならない。ただし、前条第4号に掲げる者が教材の貸出しを受けようとする場合は、図書貸出証の提示をもって足りる。

（貸出制限）

第7条 機器及び教材は、次の各号のいずれかに該当するときは貸出しない。

- (1) 営利を目的に使用するおそれのあるとき。
- (2) 特定の政党、宗派の宣伝に利用されるおそれのあるとき。
- (3) 機器及び教材の操作を熟知していると認められる者がいないとき。

（貸出期間）

第8条 機器及び教材の貸出期間は、次のとおりとする。ただし、申請内容により貸出期間を延長することができる。

- (1) 機器3日間以内
- (2) 教材1週間以内

（機器及び教材の事故）

第9条 借受者は、機器に故障の生じた場合には、簡易な部品の交換を除きみだりに分解又は修理をしてはならない。

第10条 次の各号のいずれかに該当する場合は、借受者は直ちに教育長に事故報告書（第2号様式）を提出しなければならない。

- (1) 機器及び教材を紛失したとき。
- (2) 機器及び教材を損傷し、使用に堪えなくなったとき。

（損害の弁償）

第11条 機器及び教材を損傷し又は盗難、紛失したときは、借受者は、この損害を弁償しなければならない。ただし、借受者の責に帰することができないときはこの限りでない。

2 前項の弁償については教育委員会が決定する。

（禁止行為）

第12条 機器及び教材の使用に当たっては観覧料金を徴収し、又は他に転貸してはならない。

（補則）

第13条 この規則の施行について必要な事項は別に定める。

（附則及び様式は省略）

2023年版 江別の図書館

発行年月 令和5年10月

編集 江別市情報図書館

発行 江別市教育委員会

江別市情報図書館

〒069-0815 江別市野幌末広町7番地

TEL 011-384-0202 FAX 011-385-1129

HP <https://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp>